



会長 あいさつ

「コロナ禍」といわれ、様々な活動が制限されてきたここ2年ほどですが、特文連・美術部局の主な事業である「わくわく美術展」は、様々な対策をしながら、中止することなく開催してきました。会場の空間確保や展示物の消毒作業等の感染対策のため、自由作品は募集せず、絵画作品だけの展示ではありましたが、子どもたちの熱意あふれる数々の作品を、たくさんの方々に紹介することができたことは良かったと思います。

各学校では、感染対策をしながらの学習活動が行われています。行動に制限はあっても、子どもたちの学びが制限されることはありません。学びの中でも、自分の思いを人に伝えることは、とても大切なことであり、その手段や方法は様々だと思います。絵画や造形もその一つであり、子どもたちが、それぞれの目で、耳で、肌で感じたものを、様々な形で表現していくことで、学びがあり、作品が生まれるのだと思います。今年もそのような作品たちに出会えることを、今から楽しみにしています。

また、今年は、わくわく美術展が開催されて20回目を数える節目の年になります。特別支援学校文化連盟としての20年目を記念したイベント等も計画されていますが、わくわく美術展も20回目として、これまでを振り返りながら、これからを考える展示ができたらと思っています。美術展が20回目といっても、そこに出品される作品は、その時その時の子どもたちの思いを込めたその時限りの作品で、新しいとか古いとかはありません。常に新鮮な驚きと感動を与えてくれる作品を、一つでも多く紹介していきたいと考えています。



令和4年4月

秋田県特別支援学校文化連盟 美術部会長

秋田県立ゆり支援学校長 高橋 譲